

# 第 4 学年 創る 科学習 指導案

4 年 1 組 指導者 後 藤 大 雄

## 単 元 捉え直していくこと

### 1 本単元で子供が創出と受容、転移を行う価値

具体化・抽象化する力

### 2 本単元について

具体化・抽象化する力は、物事の具体を挙げ、共通性を見出す力である。本単元では、この力を働かせながら、子供は、物事を自分なりに捉え直していく。例えば、「約束」を「絶対に守らなければならないもの」として捉え、その具体として「遊ぶ約束」や「学校のきまり」などを挙げ、「他者との関係を大切にする」という共通性を見出すことで「約束」を自分なりに捉え直すことである。本学級の子供たちは、各教科等の学習で扱う物事について、曖昧な捉えで終わることが多く、捉え直す機会は少ない。このような子供たちが、具体化・抽象化する力の創出と受容、転移を行うことで、各教科等の学習において、様々な概念の理解を促進していくことが期待できる。

本単元では、具体化・抽象化する力を働かせながら物事を自分なりに捉え直す学習に取り組む。指導にあたっては、転移時の学習過程を各教科等の学習過程と類似させることを大切にしたい。そうすることで、この力が今後の各教科等の学習に転移しやすくなるからである。このことは、物事の捉えの曖昧さに気付いた際に、自ら具体化・抽象化する力を働かせながら深く捉え直していくことにつながるであろう。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子供の姿の実現を図る。

- 身近な物事について話し合う活動を設定する。そうすることで、具体化・抽象化する力を働かせて、物事を自分なりに捉え直すことができるようにする。【創】
- 物事を捉え直した際には、その過程を振り返るよう促す。そうすることで、具体化・抽象化する力を働かせていたことに気付くことができるようにする。【受】
- 子供たちにとって身近でない物事について話し合う活動を設定する。そうすることで、自ら具体化・抽象化しながら、物事を自分なりに捉え直していくことができるようにする。【転】

### 3 主としてねらう各教科等への転移

学年	教科・領域	単元・主題
第 4 学年	道徳科	真心の美しさ
第 4 学年	国語科	登場人物の変化を中心に読み、物語をしょうかいしよう

道徳科では、教材「花さき山」を基に「美しいもの」について話し合う。その際、子供が思い浮かべる美しいものと「花さき山」で示される心の美しさの共通性を見出すことで「美しいもの」を捉え直し、道徳的価値「感動」についての理解を深めることができるから考える。

教材「プラタナスの木」では、「おじいさん」についての叙述に共通する不思議な部分を見出し、登場人物を捉え直すことで、自分なりに物語を紹介することができるから考える。

### 4 指導計画（全 6 時間）

第 1 次 具体化・抽象化する力を働かせながら身近な物事を話し合う（3 時間）

第 2 次 具体化・抽象化する力を働かせながら身近でない物事を話し合う（2 時間）【本時 2 / 2】

第 3 次 具体化・抽象化する力を発揮する場面について話し合う（1 時間）

5 本時案 【令和4年10月22日 9:20~10:05 4年1組教室】

- (1) ねらい 具体化・抽象化しながら、受け継ぐことについて物語を基に話し合うことをとおして、具体化・抽象化することのよさに気付くことができるようにする。
- (2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子供の意識

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 具体化・抽象化しながら、受け継ぐことについて話し合う。(40分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日も具体化・抽象化する力の学習だね。</li> <li>・具体化・抽象化する力で「約束」や「贈ること」といった物事を捉え直してきたよ。</li> <li>・今日は「受け継ぐ」を捉え直すのだね。</li> <li>・そもそも「受け継ぐ」とは何だろう。</li> </ul>	<p>○「受け継ぐ」という身近でない物事について話し合う活動を設定する。そうすることで、自覚的に具体化・抽象化する力を働かせながら、「受け継ぐ」について考えていくことができるようにする。</p>
<p>「受け継ぐ」も具体化・抽象化して捉え直すことはできるかな。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体化・抽象化する力を働かせること</li> <li>・「受け継ぐ」を捉え直すこと</li> </ul>	<p>・「約束」のときのように、例を挙げて、共通しているところを見付けるのだね。</p> <p>・「受け継ぐ」とは、物をもらうことだよ。</p> <p>B <u>確かに、私はお母さんの筆箱をもらったときに、受け継いだと思ったよ。</u></p> <p>C 私のお母さんのお店は、おばあさんから受け継いでいるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つまり、大切な物をもらうことだね。</li> <li>・おじいさんから舟を受け継いだ男の物語でも、男は舟をもらっているよ。</li> </ul> <p>A でも元の舟ではないから、おじいさんから心を受け継いだのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心を受け継ぐことも「受け継ぐ」なのか。</li> <li>・最後に自信が戻ってきたのは、心も受け継いだことに気付いたからかもしれないね。</li> </ul> <p>C <u>要するに、「受け継ぐ」は、大切な物と一緒に心ももらうことなのだよ。</u></p> <p>B 男は最後に「たしかにおじいさんから受け継いだ舟だ」と思うから、受け継いだと思うことが「受け継ぐ」だと思うよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが話した「受け継ぐ」には、全てに「受け継いでいると思うこと」が共通しているよ。だから、「受け継ぐ」は「受け継いでいると思うこと」だといえるよ。</li> </ul>	<p>【転】</p> <p>○「受け継ぐ」がテーマの物語を提示する。そうすることで、物語の「受け継ぐ」の具体も含めて抽象化し、自分なりに「受け継ぐ」を捉え直すことができるようにする。 【転】</p> <p>○具体化・抽象化する力の活用を視点に、振り返るよう促す。そうすることで、具体化・抽象化し、「受け継ぐ」を自分なりに捉え直すことができたことに気付くことができるようにする。 【受】</p>
<p>2 学習を振り返る。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体化・抽象化するよさ</li> </ul>	<p>A <u>具体化・抽象化する力を使って、物語の「受け継ぐ」も一緒に考えると、「受け継ぐ」を捉え直すことができたよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の時間は、具体化・抽象化する力をどんな場面で使うことができるか考えよう。</li> </ul>	

具体化・抽象化する力を使って「受け継ぐ」を捉え直せましたか。

